

# 口腔外科治療の実際

責任者名：外木 守雄

学期：後期

対象学年：4年

授業形式等：実習

## ◆担当教員

外木 守雄(口腔外科学Ⅰ 教授)  
米原 啓之(口腔外科学Ⅱ 教授)  
金子 忠良(口腔外科学Ⅱ 教授)  
清水 治(口腔外科学Ⅱ 准教授)  
田中 孝佳(口腔外科学Ⅰ 専任講師)  
生木 俊輔(口腔外科学Ⅱ 専任講師)  
佐藤 貴子(口腔外科学Ⅰ 専任講師)  
篠塚 啓二(口腔外科学Ⅰ 助教)  
白土 博司(口腔外科学Ⅱ 助教)  
西久保 周一(口腔外科学Ⅰ 助教)  
古川 明彦(口腔外科学Ⅱ 助教)  
玉川 崇皓(口腔外科学Ⅱ 助教)

## ◆一般目標 (GIO)

口腔外科臨床に必要な基本的診療態度および診療技能を得るために、実習を通して理解し、基本的な口腔外科分野の臨床手技と清潔・不潔の概念の理論・実際を身につける。

## ◆到達目標 (SBOs)

1. 小手術を適切に行うにあたり、清潔と不潔の区分を説明でき、手指と術野の消毒法を行うことができる。
2. 浸潤麻酔を実施することができる。
3. 小手術を適切に実施するために必要な器具の用法や基本手技を説明することができる。

## ◆評価方法

成績はその都度行う実習試験(100%)で評価する。なお、実習態度不良・無断欠席および遅刻は大幅な減点の対象とする。フィードバックは試験終了後、質疑応答形式で行う。

## ◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
外木 守雄	木曜日 17:00~18:00	tonogi.morio@nihon-u.ac.jp	
米原 啓之	火曜日 17:00~18:00	yonehara.yoshiyuki@nihon-u.ac.jp	
金子 忠良	木曜日 17:00~18:00	kaneko.tadayoshi@nihon-u.ac.jp	

清水 治	木曜日 17:00~18:00	shimizu.osamu@nihon-u.ac.jp	
田中 孝佳	木曜日 17:00~18:00	tanaka.takayoshi@nihon-u.ac.jp	
生木 俊輔	木曜日 17:00~18:00	namaki.shunsuke@nihon-u.ac.jp	
佐藤 貴子	木曜日 17:00~18:00	sato.takako@nihon-u.ac.jp	
篠塚 啓二	木曜日 17:00~18:00	shinozuka.keiji@nihon-u.ac.jp	
白土 博司	木曜日 17:00~18:00	shiratsuchi.hiroshi@nihon-u.ac.jp	
西久保 周一	木曜日 17:00~18:00	nishikubo.shuichi@nihon-u.ac.jp	
古川 明彦	木曜日 17:00~18:00	furukawa.akhiko@nihon-u.ac.jp	
玉川 崇皓	火曜日 17:00~18:00	tamagawa.takaaki@nihon-u.ac.jp	

#### ◆授業の方法

班分けをし、各項目に関して、実習を行う。口腔外科臨床で必要な基本的手技と清潔・不潔の概念、基本的な診療態度および診療技能を取得する。

【実務経験】外木守雄：多岐にわたる豊富な口腔外科臨床経験を踏まえた上で、実際の臨床に基づいた理論や手技について学ぶ場を提供したいと考えています。

【実務経験】米原啓之：形成外科医の立場から、口腔外科臨床現場において実際に活かすことが出来る、治療内容の理論や手技に関して、学ぶ場を提供したいと考えています。

【実務経験】金子忠良：口腔癌治療の経験等を踏まえ、歯科臨床現場において遭遇する疾患に対しての理論や手技がいかに実際に活かされるかについて学ぶ場を提供したいと考えています。

【実務経験】清水 治：数多く経験している実際の手術現場での経験を踏まえた上で、口腔外科臨床現場において実際に活かすことが出来る、治療内容の理論や手技に関して、学ぶ場を提供したいと考えています。

【実務経験】田中孝佳：臨床経験を踏まえた上で、口腔外科臨床現場において実際に活かすことが出来る、治療内容の理論や手技に関して、学ぶ場を提供したいと考えています。

【実務経験】生木俊輔：現在、在職している日本大学歯学部附属歯科病院口腔外科での経験を踏まえた上で、口腔外科臨床現場において本教科で学ぶ内容の理論や手技がいかに実際に行かされているかについて学ぶ場を提供したいと考えています。

【実務経験】佐藤貴子：留学の経験を生かした視野の広い臨床経験を踏まえた上で、口腔外科臨床現場において実際に活かすことが出来る、治療内容の理論や手技に関して、学ぶ場を提供したいと考えています。

【実務経験】篠塚啓二：海外での経験も含む他施設での口腔外科経験を踏まえた上で、実際の口腔外科臨床現場において役立つ、口腔外科疾患の理論や基本的手技・技能などについて学ぶ場を提供したいと考えています。

【実務経験】白土博司：臨床経験を踏まえた上で、学生の目線に立ち、分かりやすい口腔外科臨床で必要な基本的手技や理論に関して、学ぶ場を提供したいと考えています。

【実務経験】西久保周一：総合病院の歯科口腔外科での経験を踏まえた上で、口腔外科臨床現場において役立つ基

本的手技と診療態度および診療技能などについて学ぶ場を提供したいと考えています。

【実務経験】古川明彦：現在在職している日本大学歯学部附属歯科病院口腔外科での経験を踏まえた上で、歯科臨床現場において本科目で学ぶ内容の理論や手技がいかに実際に活かされるかについて学ぶ場を提供したいと考えています。

【実務経験】玉川崇皓：学生の視点に立ち、臨床診療をしている立場から、分かりやすく基本手技や理論に関して、学ぶ場を提供したいと考えています。

#### ◆教材(教科書、参考図書、プリント等)

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
実習書	口腔外科実習要項	日本大学歯学部口腔外科学 講座編		
参考書	口腔外科学	工藤逸郎 監修	学建書院	2016
参考書	標準口腔外科学	野間弘康, 瀬戸皖一 監修	医学書院	2015
参考書	サクシント口腔外科学	内山健志, 近藤壽郎, 坂下 英明, 大関悟 編集	学建書院	2019

#### ◆DP・CP

[DP-3]

コンピテンス：論理的・批判的思考力

コンピテンス：多岐にわたる知識や情報を基に、論理的な思考や批判的な思考ができる。

[CP3]

幅広い教養と歯科医療に必要な体系的な知識を基に、論理的・批判的思考力と総合的な判断能力を育成する。

[CP4]

歯科医学の基礎知識を体系的に修得し、臨床的な視点で問題を解決する力を養成する。

#### ◆準備学習(予習・復習)

実習書を熟読し、事前に理解を深めておく。

#### ◆準備学習時間

準備学習に記載された事項に必要なだけの時間を充てて予習を行うこと。

#### ◆全学年を通しての関連教科

第4学年後期：嚢胞・神経疾患と口腔腫瘍

第4学年前期：口腔外科手術と顎変形症

第3学年後期：炎症と臨床検査

#### ◆予定表

注意事項：鋭利な器材を多用するので、十分注意と緊張感をもって実習に臨み、実習書は必ず持参すること。班分

けは、約 10 名で 1 班を形成し、各班別で担当教員の指導の下に実習を行う。当日行う実習は班により異なるので注意すること（詳細は事前に通知する）。

第 13 回（10 月 12 日）平常試験解説は、10 月 10 日の『嚢胞・神経疾患と口腔腫瘍』の平常試験について、解説を行う。

回	クラス	月日	時間	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1	A B	9.7	2	1. 嚢胞 1)総論 2)顎骨に生じる嚢胞（1）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・嚢胞性疾患は、顎口腔病変のうちでも発生頻度は高く、さらにその成り立ちにも相違がみられ、WHO の新分類に準じ、石川の分類も参照して説明できる。</li> <li>・顎骨に生ずる嚢胞の臨床的特徴を説明できる。</li> </ul>	清水 治	E-2-4)-(5) 嚢胞
2-3	A	9.8	5 ～ 6	1. オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口腔外科実習を受けるにあたっての諸注意、特に安全対策面での事項を理解できる。</li> <li>・今後の実習項目について、スライド・ビデオ等を通して理解できる。</li> <li>・口腔外科疾患別処置における治療と手技の多様性について理解できる。</li> </ul>	外木 守雄 担当者	E-1 診療の基本
2-3	B	9.8	7 ～ 8	1. オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口腔外科実習を受けるにあたっての諸注意、特に安全対策面での事項を理解できる。</li> <li>・今後の実習項目について、スライド・ビデオ等を通して理解できる。</li> <li>・口腔外科疾患別処置における治療と手技の多様性について理解できる。</li> </ul>	外木 守雄 担当者	E-1 診療の基本
4	A B	9.14	2	2. 神経疾患 1)神経痛 2)神経麻痺 3)その他の神経疾患	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口腔・顎・顔面に関係する神経の解剖と機能を説明できる。</li> <li>・三叉神経痛を中心として、痛みを訴える神経疾患の原因、症状、診断、治療および予後について説明できる。</li> <li>・顔面神経麻痺を中心として、知覚麻痺・運動神経麻痺疾患について、その原因、症状、診断、治療および予後について説明できる。</li> <li>・痙攣等を生ずる、各種の神経疾患について、その原因、症状、診断、</li> </ul>	篠塚 啓二	E-2-4)-(9) 神経性疾患

					治療および予後について説明できる。		
5-6	A	9.15	5～6	2. アルコール擦式消毒の実際	・アルコール擦式消毒薬を用いた手指の消毒法を修得できる。	外木 守雄 担当者	E-1-5) 小手術
5-6	B	9.15	7～8	2. アルコール擦式消毒の実際	・アルコール擦式消毒薬を用いた手指の消毒法を修得できる。	外木 守雄 担当者	E-1-5) 小手術
7	A B	9.28	2	1. 嚢胞 3)顎骨に生じる嚢胞(2) 4)軟組織に生じる嚢胞	・発生由来, 年齢, 発生部位などを考慮し, 治療法の選択が重要であることを説明できる。 ・軟組織にみられる嚢胞について, その成り立ちと臨床的特徴を説明できる。 ・嚢胞の発生部位, 症状などを考慮し, 治療法の選択が重要であることを説明できる。	清水 治	E-2-4)-(5) 嚢胞
8-9	A	9.29	5～6	3. 手洗いと滅菌グローブの装着	・口腔外科手術における基本である清潔, 不潔の概念について理解できる。 ・手洗い・滅菌グローブの装着方法を修得できる。	外木 守雄 担当者	E-1-5) 小手術
8-9	B	9.29	7～8	3. 手洗いと滅菌グローブの装着	・口腔外科手術における基本である清潔, 不潔の概念について理解できる。 ・手洗い・滅菌グローブの装着方法を修得できる。	外木 守雄 担当者	E-1-5) 小手術
10	A B	10.5	2	3. 腫瘍類似疾患 4. 唾液腺良性腫瘍 1)解剖と治療法 2)唾液腺腫瘍類似疾患	・真の腫瘍の分類には入らないが, 組織が腫瘍性の増殖を示す腫瘍類似疾患の特徴および治療法を説明できる。 ・大, 小唾液腺腫瘍の臨床解剖をふまえた良性腫瘍の手術術式を説明できる。 ・大, 小唾液腺に生じる腫瘍類似疾	清水 治	E-2-4)-(6) 腫瘍及び腫瘍類似疾患

					患の臨床的特徴および唾液腺の炎症に対する治療法を説明できる。		
11 - 12	A	10.6	5 ～ 6	4. 口腔外科用医療器具の理解と安全な取り扱い	・口腔外科用医療器材の名称および使用方法，動作原理を理解できる。 ・メス・注射針の安全な取り付け，取り外しを修得できる。	外木 守雄 担当者	E-1-5) 小手術
11 - 12	B	10.6	7 ～ 8	4. 口腔外科用医療器具の理解と安全な取り扱い	・口腔外科用医療器材の名称および使用方法，動作原理を理解できる。 ・メス・注射針の安全な取り付け，取り外しを修得できる。	外木 守雄 担当者	E-1-5) 小手術
13	A B	10.12	2	平常試験解説	・平常試験の解説を行い，授業内容の理解度の確認を行う。	清水 治 篠塚 啓二	E-2-4)-(6) 腫瘍及び腫瘍類似疾患 E-2-4)-(5) 嚢胞
14 - 15	A	10.13	5 ～ 6	5. 浸潤麻酔	・模型上で，浸潤麻酔ならびに下顎孔伝達麻酔の術式を修得できる。	外木 守雄 担当者	E-1-4)-(3) 局所麻酔法
14 - 15	B	10.13	7 ～ 8	5. 浸潤麻酔	・模型上で，浸潤麻酔ならびに下顎孔伝達麻酔の術式を修得できる。	外木 守雄 担当者	E-1-4)-(3) 局所麻酔法
16	A B	10.19	2	5. 歯原性腫瘍 1)分類，頻度など 2)エナメル上皮腫 (1)臨床症状 (2)治療方針 (3)予後	・相互に浸潤麻酔を行うことにより，注射器および注射針の取り扱いを含め，局所麻酔法の実際を修得できる。	田中 孝佳	E-2-4)-(6) 腫瘍及び腫瘍類似疾患
17 - 18	A	10.20	5 ～ 6	6. 骨隆起	・模型上で骨隆起除去を行うことにより，術式（特に切開、縫合），使用器材の種類，名称および使用方法を修得できる。	外木 守雄 担当者	E-1-4)-(3) 局所麻酔法
17 - 18	B	10.20	7 ～ 8	6. 骨隆起	・模型上で骨隆起除去を行うことにより，術式（特に切開、縫合），使用器材の種類，名称および使用方法を修得できる。	外木 守雄 担当者	E-1-5) 小手術

19	A B	10.26	2	5. 歯原性腫瘍 3)角化嚢胞性歯原性腫瘍, 腺様歯原性腫瘍など 4)エナメル上皮線維腫, 歯牙腫など 4. 非歯原性良性腫瘍 1)分類, 頻度, 治療法など 2)上皮性腫瘍	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯原性上皮と間葉成分との両者から増殖する腫瘍について説明できる。</li> <li>・本疾患の種類, 発生頻度, 症状, 診断, 治療および予後などについて説明できる。</li> <li>・歯を形成する組織に由来しない腫瘍の発生頻度, 臨床所見, 治療法などについて説明できる。</li> <li>・口腔粘膜に生じる上皮性良性腫瘍の臨床所見と治療法を説明できる。</li> </ul>	田中 孝佳	E-2-4)-(6) 腫瘍及び腫瘍類似疾患
20 - 21	A	10.27	5 ~ 6	7. 抜歯①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・模型上で普通抜歯を行うことにより, 使用器材の種類, 名称および使用方法を修得できる。</li> </ul>	外木 守雄 担当者	E-1-5) 小手術
20 - 21	B	10.27	7 ~ 8	7. 抜歯①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・模型上で普通抜歯を行うことにより, 使用器材の種類, 名称および使用方法を修得できる。</li> </ul>	外木 守雄 担当者	E-1-5) 小手術
22	A B	11.2	2	6. 口腔悪性腫瘍 1)総論 2)前癌病変	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口腔悪性腫瘍の種類, 発生頻度, 性, 年齢, 好発部位, 臨床所見, 転移の様相ならびに治療法の概略について説明できる。</li> <li>・白板症, 紅斑症などの病態を説明できる。</li> </ul>	篠塚 啓二	E-2-4)-(6) 腫瘍及び腫瘍類似疾患
23	A B	11.9	2	6. 口腔悪性腫瘍 3)舌癌 4)下顎歯肉癌, 口底癌	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口腔悪性腫瘍の内, 最も発生頻度の高い舌癌についてその臨床所見, 臨床経過および治療法などを説明できる。</li> <li>・下顎歯肉癌, 口底癌の臨床所見, 臨床経過および治療法などを理解し, 舌, 下顎歯肉, 口底部などに生じた癌の包括的な対処法を説明できる。</li> </ul>	金子 忠良	E-2-4)-(6) 腫瘍及び腫瘍類似疾患
24 - 25	A	11.10	5 ~ 6	8. 抜歯②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・抜歯対象歯の歯種, 病態によって使用器材, 術式などが異なることを理解できる。</li> </ul>	外木 守雄 担当者	E-1-5) 小手術
24	B	11.10	7	8. 抜歯②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・抜歯対象歯の歯種, 病態によって</li> </ul>	外木 守雄	E-1-5) 小手術

- 25			～ 8		使用器材，術式などが異なることを理解できる。	担当者	
26	A B	11.16	2	6. 口腔悪性腫瘍 5)上顎癌 6)その他の口腔癌	・上顎歯肉癌・硬口蓋癌・上顎洞癌の臨床所見，臨床経過および治療法などを説明できる。 ・頬粘膜癌，口唇癌などの臨床所見，臨床経過および治療法などを説明できる。	金子 忠良	E-2-4)-(6) 腫瘍及び腫瘍類似疾患
27 - 28	A	11.17	5 ～ 6	9. 縫合法①	・ガム模型上で切開，縫合を行い，使用器材の種類，名称および使用方法等器械結紮を中心に修得できる。	外木 守雄 担当者	E-1-5) 小手術
27 - 28	B	11.17	7 ～ 8	9. 縫合法①	・ガム模型上で切開，縫合を行い，使用器材の種類，名称および使用方法等器械結紮を中心に修得できる。	外木 守雄 担当者	E-1-5) 小手術
29 - 30	A	11.24	5 ～ 6	10. 縫合法②	・ガム模型上で切開，縫合を行い，使用器材の種類，名称および使用方法等手指による結紮を中心に修得できる。	外木 守雄 担当者	E-1-5) 小手術
29 - 30	B	11.24	7 ～ 8	10. 縫合法②	・ガム模型上で切開，縫合を行い，使用器材の種類，名称および使用方法等手指による結紮を中心に修得できる。	外木 守雄 担当者	E-1-5) 小手術
31	A B	11.30	2	6. 口腔悪性腫瘍 7)口腔肉腫 8)その他の悪性腫瘍 9)唾液腺悪性腫瘍 10)歯源性腫瘍の悪性化および歯源性肉腫，歯源性肉腫	・骨源性肉腫，線維肉腫などの口腔肉腫についての臨床所見，癌腫と異なる特徴などを説明できる。 ・悪性リンパ腫，悪性黒色腫などの臨床所見，臨床経過および治療法などを説明できる。 ・唾液腺悪性腫瘍の発生頻度，好発部位，特徴などを説明できる。 ・歯源性上皮性腫瘍や歯源性嚢胞は悪性化を来すことがある。さらに，稀な疾患であるが，歯源性上皮と外胚葉性間葉成分の両方が悪性の細胞学的特徴を呈する腫瘍について説明できる。	金子 忠良	E-2-4)-(6) 腫瘍及び腫瘍類似疾患

32 - 33	A	12.1	5 ～ 6	11. 膿瘍の切開	・炎症で膿瘍を形成した際の処置を修得できる。	外木 守雄 担当者	E-1-5) 小手術
32 - 33	B	12.1	7 ～ 8	11. 膿瘍の切開	・炎症で膿瘍を形成した際の処置を修得できる。	外木 守雄 担当者	E-1-5) 小手術
34	A B	12.7	2	7. 悪性腫瘍に対する放射線治療と化学療法	・悪性腫瘍の疫学，腫瘍組織と正常組織の放射線感受性について説明できる。 ・治療装置と照射技術，放射線治療の適応と役割，放射線治療の効果などについて説明できる。 ・悪性腫瘍に対する化学療法について説明できる。 ・化学放射線療法と有害事象などについて説明できる。	金子 忠良	E-2-4)-(6) 腫瘍及び腫瘍類似疾患
35 - 36	A	12.8	5 ～ 6	12. 抜歯前の説明	・抜歯前の患者に対する説明項目をロールプレイによって修得できる。	外木 守雄 担当者	E-1-5) 小手術
35 - 36	B	12.8	7 ～ 8	12. 抜歯前の説明	・抜歯前の患者に対する説明項目をロールプレイによって修得できる。	外木 守雄 担当者	E-1-5) 小手術
37	A B	12.9	2	8. 口腔癌の最先端治療 ※水曜日 (12/9)	・口腔癌に対する最先端治療と今後の展望について説明できる。	金子 忠良	E-2-4)-(6) 腫瘍及び腫瘍類似疾患
38 - 39	A	12.10	5 ～ 6	13. 抜歯後の説明 ※木曜日 (12/10)	・抜歯後の患者に対する注意事項等の説明をロールプレイによって修得できる。	外木 守雄 担当者	E-1-5) 小手術
38 - 39	B	12.10	7 ～ 8	13. 抜歯後の説明 ※木曜日 (12/10)	・抜歯後の患者に対する注意事項等の説明をロールプレイによって修得できる。	外木 守雄 担当者	E-1-5) 小手術
40	A B	12.14	2	9. 顎関節部の腫瘍	・顎関節の臨床解剖を学び，顎関節部に生じた腫瘍および腫瘍類似疾患の臨床所見，臨床経過および治療法などを説明できる。	西久保 周一	E-2-4)-(7) 顎関節疾患

41 - 42	A	12.15	5 ～ 6	実地試験 実地試験の解説	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今まで実習した各項目について、実地試験を行う。</li> <li>・解説により実習内容の理解度の確認及び習熟を図る。</li> </ul>	外木 守雄 担当者	E-1-5) 小手術
41 - 42	B	12.15	7 ～ 8	実地試験 実地試験の解説	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今まで実習した各項目について、実地試験を行う。</li> <li>・解説により実習内容の理解度の確認及び習熟を図る。</li> </ul>	外木 守雄 担当者	E-1-5) 小手術
43 - 44	A	12.22	5 ～ 6	補完	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試験結果を踏まえて、不備な実習項目について補完を行い、再度理解度を深める。</li> </ul>	外木 守雄 担当者	E-1-5) 小手術
43 - 44	B	12.22	7 ～ 8	補完	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試験結果を踏まえて、不備な実習項目について補完を行い、再度理解度を深める。</li> </ul>	外木 守雄 担当者	E-1-5) 小手術
45	A B	12.26	3	平常試験の解説	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『嚢胞・神経疾患と口腔腫瘍』の平常試験（12月26日）の解説により授業内容の理解度の確認を行う。</li> <li>・後期成績判定の一部とする。</li> </ul>	外木 守雄 清水 治 篠塚 啓二	



## 担当グループ一覧表

グループ名	教員コード	教員名
担当者	1114	清水 治
	1251	田中 孝佳
	1284	生木 俊輔
	1368	佐藤 貴子
	1728	米原 啓之
	2009	古川 明彦
	2331	金子 忠良
	2422	白土 博司
	2848	篠塚 啓二
	2851	玉川 崇皓
	3211	西久保 周一

